つくしんぼ

第280号

発　行　佐渡福祉会、岩の平園保護者会、第二岩の平園保護者会
佐渡市上新穂1256番地　電話 0259-22-3880　URL　http://sadofukushikai.jp

新年のご挨拶

佐渡福祉会　理事長　彈　正　佼　一

新しい年を迎え、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より皆様には、当法人に対しまして格別なご理解とご支援ご協力を賜りまして深く感謝を申し上げます。

さて、当法人は、来年度より新しい計画に則り活動すべく、ただいま第二次中期計画の策定中です。この度の中期計画もまた、佐渡市・新潟県の指導を頂いて、第一次中期計画以上に、関係するすべての皆様に希望の湧いてくるような素晴らしい計画にしたいと思っています。

佐渡市においては、来年度から第三次佐渡市障害者計画・第五期佐渡市障害福祉計画・第一期佐渡市障害児福祉計画の三つの計画がスタートします。私も説明を聞いてきましたが佐渡市の熱の入れようは大変なものでした。

このことから考えても、彼らの指導を受けながら我々の中期計画を立案してゆけば、満足のいく計画ができるのではと思います。

また佐渡市の副市長は厚生労働省の課長の経験のある方ですから、佐渡市の職員も福祉に関しては一生懸命なのだと思います。

これを機に佐渡市が日本一の福祉の島になるようみんなが力を合わせて頑張らねば、我々の第二次中期計画もそれを踏まえて立派なものにしなければ、と思った次第です。

我々の施設にはたびたびボランティアの方が訪れて無償の奉仕をしてくださいます。また金銭的に寄付をしてくださる方、土地を提供してくださる方も大勢いらっしゃいます。そのような優しい方達に囲まれて、良い行政に指導していただき、私たちは幸せです。

この上は職員一同、より一層スキルアップして質の高いサービスを提供し、利用者のためになりたいと思っておりますので、これからも皆様方の温かいご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますことを祈念して、私の新年の挨拶とさせていただきます。

岩の平園祭を終えて

岩の平園祭実行委員長　松山隆弘

十月二十二日開催致しました、第34回岩の平園祭には、お忙しい中多数の皆様から来園して頂き誠にありがとうございました。

園祭当日は台風の影響が強い中、駐車場であるグラウンドから駆け込み来園して下さいました皆様方には心から感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、多くのボランティアの方々のご協力を得ながら無事終了できましたのも、ひとえに皆様の福祉に対する深いご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

午前中の体育館での催し物は瓜生屋子供鬼太鼓、ピアノ演奏会にて会場全体が大いに盛り上がり、

午後は利用者の方による舞踊や大黒舞の披露で会場から大きな拍手をいただき幕を閉じました。

例年好評頂いている模擬店・各種バザーは悪天候の中でも大盛況で、岩の平園の特産品である大根・長芋も昼の時点で完売することができました。また島内の各福祉事業所からも出店いただき、様々な商品が並びとても賑わっておりました。

作品展示に関しましては、大勢の方からご覧頂きとても嬉しく感じております。

今後も地域社会とのつながりを大切にし、そして一人でも多くの方に障がい者への理解を深めていただけるよう頑張っていきたいと思っております。

最後に、福祉バザーへのご寄付をいただきました個人・団体の皆様、並びに「岩の平園祭」にご協力下さいました皆様に心より御礼申し上げます。

ありがとうございました

岩の平園祭 福祉バザー寄付

- 後藤薬局　様
- 総合生協　佐渡支所　様
- 内藤電誠工業株式会社　真野工場　様
- 肉のエンドウ　様
- 氷室産業　様
- 日本赤十字奉仕団(赤泊)　様
- 日本赤十字奉仕団(羽茂)　様
- 日本赤十字奉仕団(新穂)　様
- 日本赤十字奉仕団(小木)　様
- 日本赤十字奉仕団(畑野)　様
- 日本赤十字奉仕団(金井)　様
- 佐渡市　手をつなぐ育成会（真野地区）　様
- 佐渡市　手をつなぐ育成会（赤泊地区）　様
- 佐渡　ロータリークラブ　様
- 三和福祉会　様
- 大橋福祉会　様

岩の平園祭 ボランティア

- 伝統文化と環境福祉の専門学校　様
- 新潟県立佐渡総合高等学校　様
- 佐渡保育専門学校　様
- 佐和田地区民生児童委員協議会　様
- 新潟県立羽茂高等学校　様
- 佐渡L・T会　様
- 三和福祉会　様
- JA佐渡　青年部　様
- 古河聖子　様
- 後藤圭子　様
- 藤間綾若　様
- 葛西啓子　様

岩の平園祭 催し物協力

- 瓜生屋子供鬼太鼓　様
- 佐山三憲　様
- 高野静香　様
- 市橋久子　様
- 若林美佐子　様

グループホーム「りょうつ寮」リニューアルオープンしました!!

十月一日、両津舟場地区にあった「ふなば寮」が両津湊地区に新築移転し「りょうつ寮」としてリニューアルオープンしました。そして、十月十九日には佐渡地域振興局健康福祉環境部長様、佐渡市副市長様をはじめ、地元自治会の代表者、招待者、施工者及び関係者の方々に出席して頂き、開所式が開催されました。

グループホームとは、障がいのある方が共同生活を営む住居で、日常生活上の援助を受けながら、毎朝それぞれが過ごす日中活動の場へ出かけ、企業での就労や障がい福祉サービスを利用し、夕方に帰宅する生活の場です。

平成十七年に開設された「ふなば寮」は既存の建物をお借りして開設し、改修を重ねながら運営してまいりましたが、ここ数年、設備の老朽化や入居されている方の高齢化が課題となり、代替施設が検討されるものの候補地がなかなか決まりませんでした。

そんな折、両津湊地区に土地と建物を所有されていた赤荻葉子様と堂前みどり様より、ご寄付の申し出を頂き、また両津湊地区の皆さまからもご理解とご協力を頂き、春から工事が始まり、無事完成し引き渡しが行われました。建設資金としては、国・県・市より施設整備補助金をいただいています。また、家電・家具等備品の購入にあたっては真柄福祉財団より助成金、佐渡市より補助金をいただいています。

当日は全員総出で引っ越し作業を行い、慣れ親しんだ「ふなば寮」に別れを告げ、「りょうつ寮」に移ってきました。当初は周辺地理や設備の使い方、新品の電化製品の操作方法に戸惑うこともありましたが、少しずつ新しい環境に慣れてきたところです。

新しくなった「りょうつ寮」は定員六名と一名増え、短期入所サービスも利用できるようになりました。オール電化仕様で夏も冬も快適に過ごすことができ、通所施設が近くなったこともあり、通勤時間が減って朝もゆったりと過ごすことができるようになりました。

今後もそれぞれの方のニーズ、そして、御自身が描く生活像に沿って、その人なりの充実した暮らしを送っていただけるよう支援したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

★ウエスの材料を集めてます

あんずの家では、ウエスの材料となる古着・タオル等が大変不足しています。ご連絡頂ければ、回収にもお伺いします。

ご協力お願い致します。

連絡先　あんずの家　☎ 23-3303

★薪の販売をします

あんずの家、まつはらの家では薪の販売を行っております。

配達も行いますので、お気軽に各事業所へお問い合わせください。

杉……一束 200円
雑木…一束 250円
楢……一束 350円

連絡先　あんずの家　☎ 23-3303
まつはらの家　☎ 52-4744

★利用者を募集しています

そよかぜでは生活介護事業の利用者を募集しています。

★営業日　月曜日～土曜日の午前９時から午後５時

★対象者　①障害支援区分が区分３以上である方
②年齢が 50 歳以上の場合は障害支援区分が区分２以上である方

★内　容　①入浴や排泄、食事などの介護
②生活能力向上のための援助

手続等については、相談支援事業所と連携しながら進めていきます。

★世話人募集のお知らせ

佐和田地区、金井地区のグループホームの世話人を募集しています。

★勤務時間　①６時～９時　②16 時～ 21 時　①と②両方勤務

★勤務日数　週３日

給与、仕事内容等詳しい内容は「そよかぜ」までお気軽にお問い合わせ下さい。年齢は不問です。

連絡先　そよかぜ　濱田、矢邉　☎ 63-3858

佐渡障がい福祉フォーラム

こもれび相談支援専門員　石川　和順

佐渡障がい福祉フォーラム２０１７が七月二十二日、二十三日の二日間に渡り、あいぽーと佐渡にて開催されました。島内外の障がい福祉に携わる当事者、家族、関係者等、約二五〇名が参加されました。

昨年から始まったフォーラムですが、今年は「さあど～する？私達のライフステージ‼」をテーマに、障がい児支援、農福連携、高齢障がい者等の地域包括支援、自殺対策等の各分野からの講師をお招きし、それぞれのライフステージに沿って講演され、障がいを持つ人だけでなく、その人達を支える周囲の人達にとっても、その人らしく、より良く生きるためのヒントをいただけたのではないかと思います。

また、書家の金澤翔子氏からは、満員の会場から皆が見つめる中、ステージ上で力強く「共に生きる」と揮毫していただき、見るものに感動を与えていただきました。母親である泰子氏からは、ダウン症の子どもを持つ親として経験してきた苦悩や喜びを話していただき、心に残る講演となりました。

佐渡フォーラムは、島内の障がい福祉に携わる法人や関係機関の協力のもと、実行委員を募り開催しています。まだ２回目の開催ですが、会議を重ねる毎に各機関との連携も強くなってきているように思えます。

今年の佐渡フォーラムから、障がい者のバリアを取り除く事業や活動を対象に内閣府が認証する「ｂｅｙｏｎｄ２０２０プログラム」に認証されたことで、今後も開催していく上では各法人・機関の協力を得ながら、支援者の連携の強化や人材育成も兼ねていければと考えています。障がいを持つご本人、そのご家族を中心とした支援はもちろん、佐渡市全体の障がい福祉を少しずつでも前に進めていけるよう、「共に学ぶ場」としても佐渡障がい福祉フォーラムはありたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

岩の平盆踊り大会

岩の平園　北見　涼太

八月二十二日、岩の平盆踊り大会が岩の平園体育館で開催されました。今年はあいにくの雨模様の為、利用者の方と職員のみでの開催となりました。

天候にこそ恵まれませんでしたが、皆さん心待ちにしていた盆踊り大会、色とりどりの浴衣や甚平に着替え、楽しそうに佐渡おけさを踊る姿が見られました。

楽しみは踊りだけではありません。模擬店では焼きそばにフライドポテトと、盆踊りの雰囲気を感じながら、夕食を食べたことも忘れるほどに屋台の味を堪能していました。また、輪投げでは一つでも多く輪投げの輪を入れようと必死な利用者の方もいれば、お菓子をもらう為に頑張る利用者の方もおり、楽しいひとときを過ごすことができました。雨天のため、規模は小さくなってしまいましたが、雨雲を吹き飛ばすほどの笑い声と笑顔が岩の平園の体育館に広がっておりました。

また、今年はアトラクションとして、春日鬼組の皆様が体育館で鬼太鼓を披露して下さいました。太鼓の音が鳴り響くと共に、皆さん静かに踊りに見入っており、改めて伝統芸能のすばらしさを感じることができました。

地域性にもよりますが、盆踊りにはお盆に戻ってきたご先祖様の霊を慰める意味が込められています。また現在は、夏のイベントのひとつとして、地域交流を目的に娯楽的な意味合いが強くなっているそうです。利用者の方の高齢化、重度化に伴い、地域の方と触れ合う機会も年々少なくなってきています。そのため、地域の方と交流できる数少ない機会を大切にし、来年こそは青空の下、岩の平園園庭が交流の場となり、地域の方やボランティアの方に多数ご参加頂き、たくさんの笑顔に包まれることを心から願います。

岩の平園コーナー

～佐渡をぐるっと～

11月より、数人のグループに分かれ、食事や買い物などに出かけています。どこに出かけようか、当日まで悩む人もちらほら・・・

金塊の取り出しにチャレンジしたり、紅葉を楽しんだり、おいしい食事をペロリと平らげたり。次はどこに出かけようかな?

～作品と一緒に～

11月25日、新穂地区にある榮法寺で開催されたアール・ブリュット展へ出かけました。鑑賞に出かけた方は、島内の様々な作家さんの作品に見入っている様子でした。その中には自分の作品も！

ニッコリいい笑顔でした♪

第二岩の平園コーナー

～音楽に合わせて楽しもう～

11月27日、講師の方を招きミュージックケアを行いました。歌や音楽に合わせて手や足を動かしたり、鳴子を使って利用者の皆さん自身で音を奏でる事もありました。また薄いカーテンをふわふわと浮かせ、その下でゆったりとした瞬間(とき)を過ごしました。

～みんなで楽しいケーキ作り～

外は一面銀世界となった12月12日、利用者のみなさんでケーキ作りを行いました。スポンジケーキに生クリームやチョコレートホイップクリーム、フルーツにチョコレートカラースプレーでデコレーションして出来上がり。出来たケーキは午後からの誕生会で、みんなで美味しくいただき、大満足な1日でした。

～秋のミニ運動会～

9月26日、秋晴れのグラウンドにて、秋のミニ運動会を行いました。今回初めての試みで、紅白玉入れや座布団取りゲームを楽しみました。利用者のみなさんも笑顔で積極的に参加していました。心地よい汗をかき、清々しい風に吹かれ、楽しく体を動かす事が出来ました。

あんずの家コーナー

～あんずの家　夏祭り～

7月29日は、晴天の下、あんずの家夏祭りが開催されました。午前中は保護者会の方やボランティアの皆さんと一緒に、会場設営、ゲームやかき氷の準備などを行いました。13時からスタートするとすぐに地域の皆様や子供たちが来園して下さいました。利用者の皆さんと一緒に子供たちがプラ板やゲームなどを行い、交流を深めました。暑い中大勢の方に来園していただき、楽しいひとときを過ごすことができました。本当にありがとうございました。

～施設周辺をきれいに～

9月21日に自治会の利用者さんが中心となり、施設周辺の道路や加茂湖周辺のゴミ拾いを行いました。加茂湖周辺には網やペットボトルなど色々なゴミがたくさんありました。利用者さんみんなで協力し合い、たくさんのゴミを回収しました。

～ふるさと訪問～

10月13日、両津婦人会の皆様からお招きいただいて、ふるさと訪問に参加しました。日蓮像を見学した後、平松トンネルを通り浦川漁港までドライブを楽しみました。会場のしゃくなげに到着すると、婦人会の皆様のお出迎えを受け、おいしい昼食をいただきました。その後、河崎保育園児の歌やお遊戯を見たり、第一興商さんによる音楽に合わせて体を動かしたりと、楽しく過ごしました。また、利用者さんによるカラオケ大会では、自慢ののどを披露し満足した様子でした。両津婦人会の皆様、社会福祉協議会両津支所の皆様本当にありがとうございました。

まつはらの家コーナー

～やきいもで体も心もホカホカ!～

秋も深まった11月21日、やきいもを食べる会が行われました。まつはらの家では、季節ごとの様々なイベントを行っていますが、この肌寒い時期に外で食べるやきいもは最高とのことで利用者の皆さんこの日を楽しみにしていました。当日はサツマイモをアルミホイルで包んだり、園庭で炭火をおこしたりと自治会を中心に準備を行いました。

さあ、いよいよ会の始まり。炭火で焼き上げたホクホクのやきいもを皆さん幸せそうに食べていました。当日は肌寒い日でしたが、やきいものおかげで体も心もホカホカに温まった一日でした。

～薪作りがんばっています～

まつはらの家では薪の製作･販売を行っています。薪を使ったストーブの暖房はおだやかな暖かさで心地よく、自然環境にもやさしいということで需要が増えており、まつはらの家にも多くの薪の注文をいただいています。お客様に喜んでもらえる薪製品を届けようという思いで、薪班のみんなが額に汗して作業に取り組んでいます。ご希望があればご自宅まで無料配達いたしますのでよろしくお願いします。

そよかぜコーナー

～楽しい納涼会～

8月18日に納涼会を行いました。そよかぜ玄関前にかき氷・綿あめ・ポップコーンの出店を出し、輪投げと魚釣りを楽しむコーナーもありました。

この日は天気も良く、みんなで楽しく過ごしました。

～笑顔がいっぱい!～

9月19日から21日までの3日間、3班に分かれハイキングに行って来ました。佐渡博物館を見学後、あいぽーと佐渡で海を見ながらお弁当を食べました。午後は金井運動公園や新穂ダムでお茶会を行いました。1日かけてのハイキング、少し疲れたかもしれませんが笑顔がいっぱい見られました！

～秋のドライブ～

秋の景色を楽しもうと、11月15日から17日まで、3班に分かれてドライブへ行ってきました。紅葉山公園へ出掛けましたが、15日はあいにくの雨模様。16・17日はなんとか天気が持ちこたえてくれ、散策することができました。紅葉はもう終わりかけでしたが、澄んだ空気の中、色づいた木の葉を眺め楽しい時間を過ごしました。

第七回 佐渡ふれ愛フライングディスク大会

雲が広がり、肌寒さも感じた十月六日、「第七回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」が佐渡市陸上競技場で行なわれました。

佐渡市障がい者スポーツ協会との共催で、十二施設・団体から六十三名の選手と十七名の支援者が参加しました。また、『伝統文化と環境福祉の専門学校』の学生他、今回新たに『佐渡保育専門学校』の学生にも協力していただき、計二十一名の学生、他に新潟県障害者スポーツ指導員やフライングディスク公認指導員等、多くの方々に参加・協力をいただき、楽しく、盛大に行なわれました。

今回はアキュラシー競技の五m&七m（五m先又は七m先にあるゴールに十回投げて通過した数を競う）とディスタンス（三回遠くへ投げて距離を競う）の他、団体戦として代表の選手二名と支援者一名の三人一組で、アキュラシーの三m&五m&七mを選手は三mと七m、支援者は五mを各十回ずつ投げ、その合計点（三十点満点）を競いました。

その結果、アキュラシー競技の五mでは九点の方が一名、ディスタンス競技では四十一mが最高でした。また団体戦は十六点のまつはらBチームが優勝しました。

春は雨天のため体育館でした。今回もあまり良い天気ではありませんでしたが広々としたグラウンドで、選手は思いっきりディスクを投げられたかと思います。

さて、来年度はこのグラウンドで快晴のもと、より多くの選手や支援者の参加を得て、より盛大に大会を行ないたいと思います。五月に「第七回佐渡フライングディスク大会」を、十月に「第八回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」を開催する予定です。誰でもウエルカムです。多くのみなさんの参加をお待ちしています。一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

また、当協会ではフライングディスク用具の貸し出しも行なっております。事務局（岩の平園TEL二二―三八八〇）まで連絡をください。よろしくお願いします。

（新潟佐渡障害者FD協会事務局　矢本）

7月～12月の寄付・寄贈者

▼法人本部
・佐和田地区　有限会社コンドーシステム　様
・新穂地区　柴山理容店　様

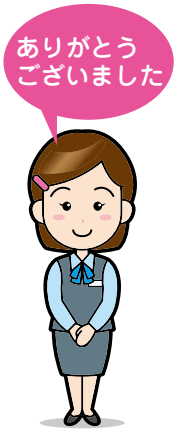
▼岩の平園
・小木地区　高野節子　様
・金井地区　佐渡金井キリスト教会　様
・両津地区　ホテルニュー桂　様
・両津地区　第四銀行両津支店　様
・相川地区　坂下忠廣　様

▼第二岩の平園
・両津地区　ホテルニュー桂　様

▼あんずの家
・両津地区　ワダシューズショップ　様
・両津地区　音色の会　様
・畑野地区　本宮商店　様
・佐和田地区　近藤　様

▼まつはらの家
・相川地区　坂下忠廣　様
・佐和田地区　本間　様
・佐和田地区　東北電力検集労新潟支部佐渡分会　様

▼そよかぜ
・つくば市　赤荻葉子　様
・新潟市　堂前みどり　様
・新穂地区　土屋甚健　様
・新穂地区　佐山三憲　様



7月～12月のボランティア

▼岩の平園
・新穂地区　天理教新穂分教会　様

▼第二岩の平園
・新穂地区　新穂地区民生児童委員　様
・金井地区　ベルマン美容室　様
・金井地区　飯田珠美　様
・両津地区　佐渡中等教育学校　様
・真野地区　相田朋夏　様
・相川地区　渕上秤　様

▼あんずの家
・両津地区　佐渡中等教育学校　様
・金井地区　伝統文化と環境福祉の専門学校　様

▼まつはらの家
・新潟市　敬和学園高等学校　様

利用者状況

《岩の平園》
○入所…山田信幸さんが8月1日、田辺勝栄さんが12月1日に入所されました。どうぞよろしくお願いいたします。

おくやみ

《岩の平園》
7月7日、金子良雄さんがお亡くなりになりました。
9月9日、三國稔さんがお亡くなりになりました。
心よりご冥福をお祈りいたします。

第三十八回 新穂地区駅伝競走大会

十月十五日、第三十八回新穂地区駅伝競走大会に、佐渡福祉会として利用者二名、職員三名で参加しました。

当日は少々肌寒い中でしたが、沿道の声援を味方に付け、見事襷を繋ぎゴールをする事が出来ました。走り終わった選手からは、晴れやかな笑顔が見えていました。次回の大会も、みなさんのご声援をよろしくお願いいたします。

短歌

雨傘をさす行商の母急ぐ
腹の私が濡れないように

佼一

★パソコンを集めています

あんずの家、まつはらの家では、パソコン等の日本国内での再資源化を目指し、回収・分解・分別を行っています。使い終わったパソコン、サーバー等のパソコン周辺機器、携帯電話、ゲーム機が主な対象です。

情報漏洩対策として、出張解体を行っています。その場でハードディスクを抜き出し、傷付けを行います。出張解体もぜひお任せください。

▲情報漏洩対策
ハードディスク傷付け作業

連絡先
あんずの家　☎23-3303
まつはらの家　☎52-4744

平成29年度　職員動向

Ⅰ 異動（8月1日付）

氏　名	現　職　名	前　職　名
矢　田　聡一朗	岩の平園　支援課支援員	第二岩の平園　支援課支援員

Ⅱ 新　任

氏　名	職　名	採用日
笹　布　　勇	第二岩の平園　看護師	7月 4日付
渡　部　夏　織	第二岩の平園　看護師	7月12日付
児　玉　とし子	岩の平園　調理員	8月 1日付
佐　藤　雄　介	まつはらの家　支援員	8月 7日付
伊　藤　麻奈美	そよかぜ　看護師	8月29日付
本　間　よしえ	第二岩の平園　技能労務員	10月 1日付
甲　斐　恵　美	岩の平園　支援員	12月 1日付

Ⅲ 退　職

氏　名	職　名	退職日
大　林　直　樹	岩の平園　調理員	9月30日付
後　田　将　弘	第二岩の平園　支援員	11月10日付
尾　方　千代子	第二岩の平園　事務員	11月30日付